

事業概要シート

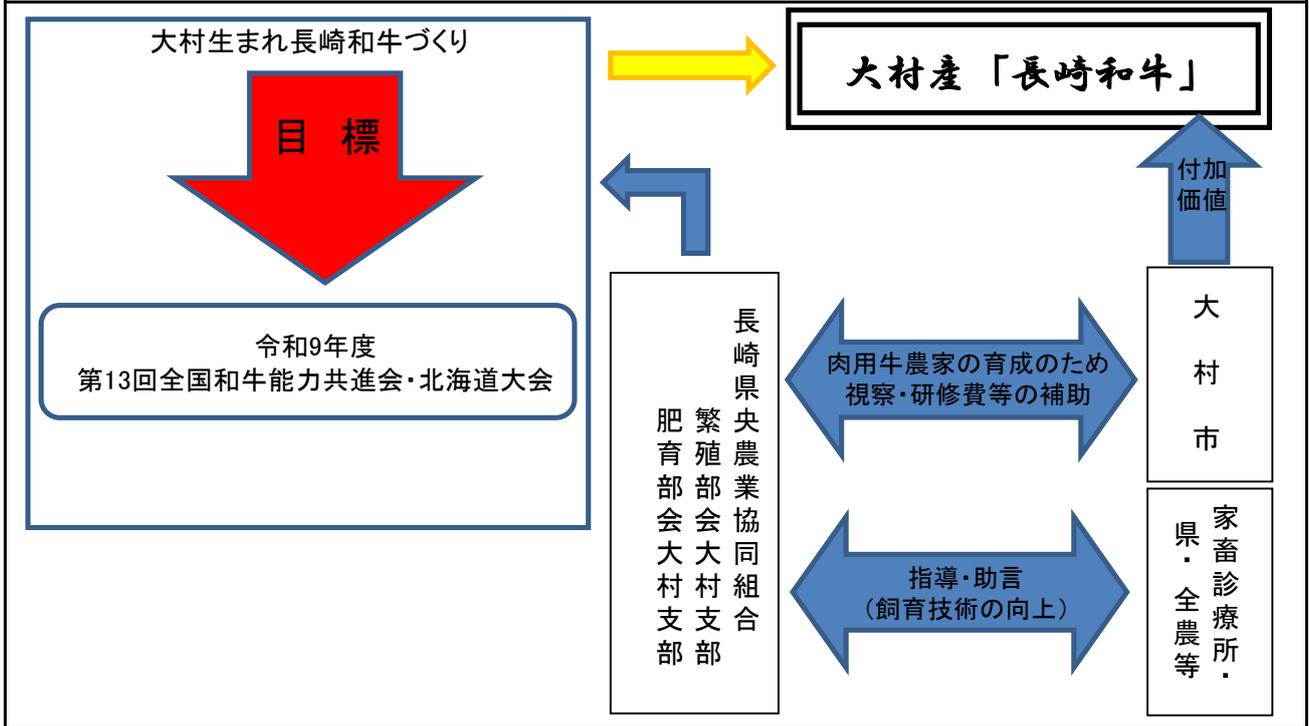
施策	1304	畜産業の振興	<<>>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	大村生まれ長崎和牛づくり事業	拡充	予算額 1,020 千円 << 198 >>千円
事業期間	～		財源内訳 国庫支出金 500 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 520 千円
根拠法令要綱等	大村市農林水産振興事業補助金交付要綱		

【事業の目的・概要・対象】

平成29年、宮城県で開催された第11回全国和牛能力共進会（以下「全共」という。）において、本市の肉用牛農家が出品した肉牛群が特別賞を受賞したことで、長崎和牛の品質の高さが改めて証明され、市場における知名度が向上し、注目が高まっている。一方、「大村生まれ・大村育ち」＝「大村産」長崎和牛の高付加価値化を目指すには、肉用牛農家の飼育技術の向上が課題の一つであり、関係機関からの助言・指導を受けながら、改良技術の促進と全体的なレベルの底上げに取り組む必要がある。

令和4年開催後、次回の全共に向け、長崎県としての交配種雄牛が決定され、令和元年度に種付けし育成された大村産の長崎和牛で出品することを指標に掲げ、好評を得ることが出来れば、付加価値が向上し、農家の所得向上に繋がるとともに、大村産ブランドとして県内外にアピールでき、ふるさと納税の需要増等、市に対する貢献も期待できることから、まずは大村産の優良な子牛育成のため、繁殖素牛導入と受精卵移植等にかかる経費を補助する。

- (事業主体) 長崎県央農業協同組合 肥育牛部会大村支部・繁殖牛部会大村支部
- (受益戸数) 肉用牛農家全15戸（肥育3戸、繁殖11戸）
- (優良素牛導入) 1,000千円・・・優良素牛導入：3頭×20万円＝60万円、受精卵移植：8頭×5万円＝40万円
- (研修費補助) 10千円・・・視察・研修などにかかる経費の3/4を限度として助成する。
 視察・研修先－福岡、佐世保
- (職員旅費) 10千円・・・視察・研修旅費
 視察・研修先－福岡、佐世保



担当課	産業振興部 農林水産振興課	課長	山田 充哉
担当者	関 将史	問合せ先	0957-53-4111 (内線253)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	事業に取り組む農家数（繁殖牛）	戸	11	11	11	11	11
②	事業に取り組む農家数（肥育牛）	戸	3	3	3	3	3

【成果指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	視察研修参加農家数	戸	3	5	8	10	8
②	出品に係る各導入頭数 （繁殖素牛・肥育素牛）	頭	0	0	3	9	5

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	2,400	273	198	1,020	3,235	1,235	8,361
国庫支出金	1,200			500			1,700
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	1,200	273	198	520	3,235	1,235	6,661
人件費	1,317	1,359	1,236	1,309	1,309	1,309	7,839
職員(人)	0.18人	0.18人	0.17人	0.18人	0.18人	0.18人	1.07人
時間外勤務(h)	4h	25h	0h	0h	0h	0h	29h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	3,717	1,632	1,434	2,329	4,544	2,544	16,200

妥当性 (市の関与)	大村産「長崎和牛」の銘柄確立を目指すための取り組みは、本市の知名度を向上させることに繋がるため妥当である。
有効性 (施策貢献度)	繁殖技術や肥育技術を向上し優良肉用牛の安定生産を図るうえで、本事業の実施は有効な事業である。
効率性 (コスト)	大村市農林水産振興事業費補助金交付要綱に基づいた補助事業として取り組むものであり、効率的な事業実施に努める。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	一次評価のとおり